

令和9年度

教育学部総合型選抜 学生募集要項

出願受付期間	令和8年9月7日（月）～令和8年9月16日（水）
試験期日	第一次選考（専修） 令和8年10月17日（土） 第二次選考（大学入学共通テスト） 令和9年1月16日（土）及び1月17日（日）
合格者発表日	【第一次選考】 令和8年11月26日（木） 【第二次選考】 令和9年2月8日（月）

奈良教育大学

(出願書類様式)

- A. 入学志願票
- B. 受験票・写真票・検定料納付確認票・大学入学共通テスト成績請求チケット送付票
- C. 志望理由書
- D. 活動報告書
- E. スポーツ・運動歴調書の作成についての依頼（保健体育専修のみ）
- F. スポーツ・運動歴調書（保健体育専修のみ）
- G. 入学確約書
- H. 宛名票
- I. 検定料払込用紙
- J. 出願用封筒表面

目 次

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
II. 募集人員等	2
III. 出願要件	3
IV. 〔全区分共通〕出願資格	3
V. 出願手続	
1. 出願方法等	4
2. 出願書類等	4
3. 出願上の留意事項	6
4. 受験票の送付	6
VI. 〔区分別〕出願資格、選抜方法、合否判定の基準及び配点	
1. 意欲重視型	7
2. 一般型Ⅰ	7
3. 一般型Ⅱ	8
VII. 選考試験、入学手続等	
1. 試験期日と時間	9
2. 第一次選考試験場	9
3. 第一次選考受験上の留意事項	9
4. 合格者の発表	10
5. 入学手続等	10
6. 〔一般型Ⅰの出願者対象〕不合格となった場合の一般選抜の受験を希望する者の取扱い	11
【別表 1】第一次選考（専修）の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等	12
【別表 2】大学入学共通テスト 利用教科・科目一覧	15
＊【別表 2】大学入学共通テスト 利用教科・科目一覧における留意事項	17
VIII. 出願書類記入上の注意	18
IX. 受験上の配慮等に関する事前相談について	19
X. 個人情報の利用について	19

※郵便料金が改定された場合は、改訂後の料金分の郵便切手が必要になりますので注意してください。

I. 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

奈良教育大学は、未来を担う子どもの育ちを支援し、学ぶ喜びを伝え、自らも人として成長したいという学生が集い、互いに学び合う場です。また、世界遺産をはじめ、数多くの貴重な文化財や豊かな自然に恵まれた環境のもと、小規模大学ならではのメリットを生かして、深い学びを実現します。

教員を目指し、ともに学ぶ仲間として、奈良教育大学教育学部では、次のような意欲と能力をもつ学生を求めます。

1. 子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人
2. 教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人
3. 文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値子どもに伝えるための思考力と表現力を磨きつづける意欲をもつ人
4. 他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かうことができる人
5. 教育学部で主体的に学ぶために必要な基礎的学力や技能をもつ人

■総合型選抜入試区分

「総合型選抜」では、次の3つの区分で募集します。

- * 総合型選抜（意欲重視型）：第一次選考のみ
- * 総合型選抜（一般型Ⅰ）：第一次選考及び第二次選考
- * 総合型選抜（一般型Ⅱ）：第一次選考のみ

意欲重視型は全専修で、一般型は専修ごとにⅠまたはⅡのいずれかで募集します。

第一次選考においては、専修ごとに理解力・表現力・意欲等を評価する試験を課します。
第二次選考（一般型Ⅰのみ実施）においては、大学入学共通テストを課します。

評価はこれらの選考の成績と調査書等の内容を総合して行います。

Ⅱ．募集人員等

本学教育学部学校教育教員養成課程では、入学定員の一部について、次のとおり「総合型選抜」を実施します。

募集する専修・履修分野・区分

選 抜	専攻	専修・履修分野		区分及び募集人員（名）			
				意欲重視型	一般型Ⅰ	一般型Ⅱ	計
総 合 型 選 抜	教育発達 専攻	教育学専修		1	3		4
		心理学専修		1	2		3
		幼年教育専修		1	3		4
		特別支援教育専修		1	3		4
	教科教育 専攻	国語教育専修	初等教育履修分野	1	2		3
			中等教育履修分野	1	2		3
		社会科教育専修	初等教育履修分野	2	2		4
			中等教育履修分野	1	2		3
		数学教育専修	初等教育履修分野	1	2		3
			中等教育履修分野	1	2		3
		理科教育専修	初等教育履修分野	1		3	4
			中等教育履修分野	—		3	3
		音楽教育専修	初等教育履修分野	2		2	4
			中等教育履修分野			—	
		美術教育専修	初等教育履修分野	1		1	2
			中等教育履修分野	—		3	3
		保健体育専修	初等教育履修分野	1	2		5
			中等教育履修分野		2		
		家庭科教育専修	初等教育履修分野	1		—	1
			中等教育履修分野	—		2	2
		技術教育専修	中等教育履修分野	1		1	2
		英語教育専修	中等教育履修分野	1	1		2
	伝統文化 教育専攻	書道教育専修		1		1	2
		文化遺産教育専修		1		1	2
	合 計				21	28	17

（注１）意欲重視型の合格者が募集人員に満たない場合、その員数を当該専修の一般型（ⅠまたはⅡ）に追加します。ただし、家庭科教育専修については、その員数を一般選抜の合格発表数に追加します。

また、一般型（ⅠまたはⅡ）における最終合格者が募集人員に満たない場合、その員数を一般選抜の合格発表数に追加します。

（注２）意欲重視型と一般型（ⅠまたはⅡ）は、同一の専修に限り併願可能です。

（注３）以下の専修については、同一専修内に限り、初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第１志望に、他方を第２志望にすることができます。いずれかの履修分野を第１志望又は第２志望としたことにより、有利又は不利に評価されることはありません。また、第２志望を選択せず、第１志望のみの出願も可能です。

【意欲重視型】：国語教育専修、社会科教育専修

【一 般 型】：国語教育専修、社会科教育専修、理科教育専修、美術教育専修、保健体育専修

（注４）以下の専修の意欲重視型区分においては、履修分野単位での募集を行いません（専修単位で募集）。履修分野の決定については、入学後に意向聴取の上、行います。

【意欲重視型】音楽教育専修、保健体育専修

Ⅲ. 出願要件

以下の区分ごとの要件に該当し、合格した場合は入学を確約できる者

＊意欲重視型：

将来、教職に就く強い意欲を持つ者。併せて本学教職大学院へ進学し、高度な専門性を身に付ける意欲を持つ者が望ましい。

＊一般型Ⅰ・Ⅱ：

以下のいずれかに該当する者

- (1) 将来、教職に就くことを希望する者
- (2) 将来、本学大学院への進学を希望する者

Ⅳ. 〔全区分共通〕出願資格 ※各区分の出願資格等詳細は7ページ以降を参照してください

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和9年3月修了見込みの者（※）
 - ※特別支援学校の高等部を修了した者及び高等専門学校の第3年次を修了した者
- (3) 学校教育法施行規則第150条における以下の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者及び令和9年3月末までにこれに該当する見込みの者
 - ア. 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - イ. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者
 - ウ. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
 - エ. 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）
 - オ. 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - カ. 高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した者
 - キ. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年4月1日までに18歳に達する者

個別の入学資格審査の申請方法等

上記出願資格（3）キ.により出願を希望する者については、事前に個別の入学資格審査を行います。令和9年度入学試験においては、高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者が対象ですので、以下により申請してください。

(1) 申請期間

令和8年8月3日（月）～令和8年8月6日（木）（必着）

(2) 申請先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

電話:0742-27-9126

※申請書類を郵送する場合は、封筒表面に「大学入学資格審査申請書類在中」と朱書きするとともに、簡易書留速達便とすること。

(3) 申請書類 (①～⑤の全てを揃えて提出してください。)

①入学資格審査申請書様式

窓口、本学ホームページ (<https://www.nara-edu.ac.jp/>) 及び郵送にて配付します。郵送による配付を希望する方は、表に「入学資格(総合型選抜)審査申請書請求」と朱書きした封筒に、返信用封筒(110円分の郵便切手を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)を入れて、入試課まで送付してください。

②当該学校の教育課程が高等学校の教育課程と同等であることが証明できる書類(学則など)

③当該学校の教育内容等が証明できる書類(カリキュラム表、授業時間数一覧など)

④卒業証明書又は卒業見込証明書

⑤返信用封筒(760円分の郵便切手を貼付し、申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した長形3号定形郵便封筒)

(4) 審査基準

申請者の当該学校の教育課程等(修業年限、年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数等)が高等学校学習指導要領に準じているかを調査し、申請者の学力が高等学校を卒業した者と同等以上であるかを審査します。

(5) 審査結果の通知

審査の結果は、申請者宛に郵送により通知します。資格を認められた者には、「奈良教育大学入学資格認定書」を同封します。

資格認定を受けた者は、出願時に「奈良教育大学入学資格認定書」の写しを添付してください。

V. 出願手続

1. 出願方法等

志願者は、「2. 出願書類等」に記載の必要書類を取り揃え、角形2号の封筒に出願書類様式J「出願用封筒表面」を貼付し、下記の出願期間内に「簡易書留速達便」により送付してください(郵送に限る)。

① 出願期間

令和8年9月7日(月)から令和8年9月16日(水)まで(郵送に限る)

(令和8年9月16日(水)消印有効とします)

② 送付先

〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

③ 大学入学共通テスト成績請求チケット提出 ※「一般型I」の第一次選考合格者のみ

「一般型I」区分において第一次選考に合格した者は、共通テスト出願サイトから大学入学共通テスト成績請求チケット「国公立総合型選抜用」を印刷し、出願書類様式B「大学入学共通テスト成績請求チケット送付票」とともに、下記期間に専用の提出用封筒により「簡易書留速達便」にて提出してください(郵送に限る)。専用封筒は、第一次選考合格通知時に送付します。

提出期間：共通テスト成績請求チケット発行開始後 ～ 令和8年12月24日(木) (必着)

2. 出願書類等 (18ページの「Ⅷ. 出願書類記入上の注意」をよく読んで所要事項をもれなく記入してください。)

＜令和8年9月16日(水)(消印有効)までに提出するもの＞

書 類 等	提出該当者	様 式	摘 要
1 入 学 志 願 票	全 員	本学所定 様式A	所要事項をもれなく記入してください。

2	受験票・写真票・ 検定料納付確認票	全 員	本学所定 様式B	それぞれ必要事項をもれなく記入してください。 ・受験票の裏面には、385円分の郵便切手を貼付の上、<u>郵便番号・住所・氏名</u>を記入してください。 ・写真票には、出願前3か月以内に撮影した縦4cm×横3cmの上半身・脱帽・正面向きの写真(裏面に氏名を記入)を貼付してください。 ・検定料納付確認票には、検定料納付後、「振替払込受付証明書(お客さま用)」を貼付してください。検定料の納付については、「9 検定料」の欄を参照してください。
3	調 査 書	全 員	文部科学省所定	出身学校長が作成し、 厳封 してください(欄外備考参照)。
4	志 望 理 由 書	全 員	本学所定 様式C	所要事項をもれなく記入してください。
5	活 動 報 告 書	全 員	本学所定 様式D	所要事項をもれなく記入してください。<u>以下に該当する場合は、記載内容を証明する資料を必ず添付してください。</u> ＊「1.教員養成に係るキャリア等」 ①欄 地方自治体による教員養成プログラム修了 ＊「3.資格・検定等」 加点対象となる公的な資格・検定等がある場合 ＊「4.競技会・コンクール等への参加歴及び入賞歴」 入賞成績がある場合 資料の写しは必ずA4サイズで提出してください。資料の原本がA4サイズではない場合は、A4サイズに拡大・縮小する、またはA4サイズの用紙に貼り付けて提出してください。原本の提出は不要です。
6	スポーツ・運動歴調書	保健体育専修 志 願 者	本学所定 様式F	出身学校長が作成し、 記載した成績・記録を証明する資料 を添付したうえで、 厳封 してください。なお、成績・記録等を証明する資料はA4サイズで提出してください。資料の原本がA4サイズではない場合は、A4サイズに拡大・縮小する、またはA4サイズの用紙に貼り付けて提出してください。
7	入 学 確 約 書	全 員	本学所定 様式G	所要事項をもれなく記入してください。
8	宛 名 票	全 員	本学所定 様式H	<u>合格通知書を受け取る場所</u> の郵便番号、住所、氏名を記入してください。
9	検 定 料 (17, 000 円)	全 員		<u>郵便局・ゆうちょ銀行窓口</u>で納付し、「振替払込受付証明書(お客さま用)」を検定料納付確認票に貼付してください。納付手数料は、入学志願者の負担とします。 (注)ATMでは「振替払込受付証明書」が発行されませんので、<u>必ず窓口で納付してください。</u>

(備考：調査書について)

- ア. 高等専門学校第3学年修了(見込)者、文部科学大臣が高等学校の課程と同等又は相当する課程と認定又は指定した在外教育施設の当該課程修了(見込)者については、文部科学省所定様式に準じ作成してください。
- イ. 高等学校卒業程度認定試験合格者は、合格成績証明書(免除科目のある場合は、免除申請等書類を含む。)をもって代えてください。なお高等学校等に在学したことのある者は、在学期間中の調査書又は、成績証明書を併せて提出してください。
- ウ. 高等学校卒業程度認定審査合格者は、合格証明書をもって代えてください。なお高等学校等に在学したことのある者は、在学期間中の調査書又は、成績証明書を併せて提出してください。
- エ. 出身学校の廃校、指導要録保存期間の終了又は被災その他の事情で出身学校長の調査書が得られない場合には、その理由書とともに、卒業証明書及び成績通信簿、単位修得証明書その他志願者において提出可能な書類で、これに代えることができます。なお、被災等による場合は、出身学校を所管する教育委員会、知事又は出身学校長等が作成した証明書(外国の学校卒業等者等については、所轄官庁などの卒業証明書等)を提出してください。
- オ. 「Ⅳ. [全区分共通] 出願資格」(3ページ)の(3)(ただし、オ.カを除く。)のいずれかにより出願する者のうち、出身学校長の調査書が得られない場合には、卒業証明書及び、成績通信簿又は単位修得証明書で、これに代えることができます。

＜令和8年12月24日(木)(必着)までに提出するもの＞ ※該当者のみ

書 類 等		提出該当者	様 式	摘 要
10	大学入学共通テスト 成績請求チケット	一般型Ⅰ 第一次選考 合格者	共通テスト 出願サイト	令和9年度大学入学共通テスト成績請求チケット(国公立総合型選抜用)を印刷し、その左上に様式B「大学入学共通テスト成績請求チケット送付票」をホッチキスで留め、該当者に送付する専用封筒により提出してください。

3. 出願上の留意事項

- ① 出願書類等受理後の記載事項の変更は認めません。ただし、願書を提出した後に、合格通知等受信場所及び連絡先を変更した時は、ただちに、その旨を入試課へ届け出てください。
- ② 出願書類等に不備がある場合は、受理しません。
- ③ 受理した出願書類等は、いかなる理由があっても返還しません。
- ④ 出願書類に虚偽の記載や写真の加工が発見された場合は、不正行為として取り扱います。また、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 既納の検定料は、次の場合を除き、返還しません。

ア. 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合又は出願が受理されなかった場合

イ. 検定料を誤って二重に払い込んだ場合

ウ. 「一般型Ⅰ」志願者で、大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合(手数料4,000円を除いた額を返還します。)

なお、上記ア又はイに該当する場合には、すみやかに入試課へ連絡してください。
- ⑥ 総合型選抜の意欲重視型と一般型(ⅠまたはⅡ)は、同一の専修に限り併願可能です。その際、それぞれの区分で異なる履修分野を選択しても差し支えありません。ただし、数学教育専修については、両区分とも同じ履修分野を選択してください。
- ⑦ 総合型選抜では、教科教育専攻の各専修(国語教育専修、社会科教育専修、理科教育専修、美術教育専修〈一般型のみ〉、保健体育専修〈一般型のみ〉)で、同一専修の初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第一志望に、他方を第二志望にすることができます。なお、第一志望のみでの出願も可能です。いずれかの履修分野を第一志望又は第二志望としたことにより、有利又は不利に評価されることはありません。あくまでも両方の履修分野に出願があったものとして取り扱い選抜を行います。
- ⑧ 出願書類の記入にあたっては、18ページ「Ⅷ. 出願書類記入上の注意」を参照してください。

4. 受験票の送付

- (1) 受験票は、出願期間終了後、本人宛に送付します。

なお、受験票が、令和8年10月9日(金)までに到着しない場合は、入試課へお問い合わせください。
- (2) 試験当日及び入学手続の際に受験票が必要となるため、紛失、汚損等のないよう大切に保管してください。

VI.〔区分別〕出願資格、選抜方法、合否判定の基準及び配点

1. 意欲重視型

*対象専修：全専修

(1) 出願資格

3 ページの「IV.〔全区分共通〕出願資格」に加え、次のいずれかに該当する者で、調査書の全体の学習成績の状況が 3.5 以上、かつ、下表の専修別に指定する基準を満たしている者

- ①奈良県次世代教員養成塾前期プログラム修了者
- ②高等学校在学中に教育に関する科目を 3 単位以上修得または修得見込の者
- ③各地方自治体教育委員会が実施する教員養成にかかるプログラム（受講時間数が 30 時間以上のもの。なお、各地方自治体教育委員会が単独で実施するもののほか、他機関と連携して実施するものも含む。）を修了した者

*専修別指定基準

専攻	専修	指定基準
教育発達専攻	心理学専修	「国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語（英語）、情報」の各教科に含まれる科目のうち、評価欄のいずれかの学年に、評価が「5」である科目が 1 つ以上あること
教科教育専攻	数学教育専修	教科「数学」の学習成績の状況が 4.0 以上であること
	理科教育専修	「数学、理科、外国語（英語）」の各教科のうち、いずれか 1 つ以上の教科の学習成績の状況が 3.8 以上であること

※上記以外の専修については、専修別指定基準はありません。

(2) 選抜方法

*第一次選考（専修）

専修ごとに理解力・表現力・意欲等を評価する試験を課します。出願時の提出書類と合わせて、総合的に評価します。

試験の内容、評価の観点等の詳細は、【別表 1】（12 ページ）を参照してください。

(3) 合否判定の基準及び配点等

ア. 専修ごとに、第一次選考（専修）の得点の上位者から順に、合格者を決定します。

イ. 第一次選考（専修）の得点率が 6 割未満の場合、不合格とします。

*第一次選考（専修）配点及び合格基準点

配 点	合格基準点
450 点	6 割（270 点）

2. 一般型 I

*対象専修：教育学、心理学、幼年教育、特別支援教育、国語教育、社会科教育、数学教育、保健体育、英語教育

(1) 出願資格

3 ページの「IV.〔全区分共通〕出願資格」に加え、令和 9 年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験する者

(2) 選抜方法

ア. 第一次選考（専修）

専修ごとに理解力・表現力・意欲等を評価する試験を課します。出願時の提出書類と合わせて、総合的に評価します。

試験の内容、評価の観点等の詳細は、【別表 1】（12 ページ）を参照してください。

イ. 第二次選考（大学入学共通テスト）

第一次選考合格者に対し、資格試験として大学入学共通テストを課します。

（詳細については【別表 2】（15 ページ）参照）

(3) 合否判定の基準及び配点等

ア. 第一次選考（専修）

- i. 専修ごとに、第一次選考（専修）の得点の上位者から順に、第一次選考合格者を決定します。
- ii. 第一次選考（専修）の得点率が 6 割未満の場合、不合格とします。

イ. 第二次選考（大学入学共通テスト）

- i. 大学入学共通テストにおいて各専修が指定する教科・科目の合計点が 5 割 5 分以上の場合、第二次選考合格とします。
- ii. 各専修が指定する科目を受験していなかった場合は不合格とします。

* 第一次選考（専修）配点及び合格基準点

配 点	合格基準点
450 点	6 割（270 点）

* 第二次選考（大学入学共通テスト）配点及び合格基準点

専攻・専修名	配 点	合格基準点
教育発達専攻 教育学専修 心理学専修 幼年教育専修 特別支援教育専修 教科教育専攻 国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 英語教育専修	科目合計 600 点	各専修が指定する科目の合計点の 5 割 5 分（330 点）
教科教育専攻 保健体育専修	科目合計 500 点	各専修が指定する科目の合計点の 5 割 5 分（275 点）

3. 一般型Ⅱ

* 対象専修：理科教育、音楽教育、美術教育、家庭科教育、技術教育、書道教育、 文化遺産教育

(1) 出願資格

3 ページの「IV. [全区区分共通] 出願資格」に加え、調査書の全体の学習成績の状況が 3.5 以上である者、かつ、下表の専修別に指定する基準を満たしている者

ただし、美術教育専修については、これらの調査書に関する基準を設けない。

＊専修別指定基準

専攻	専修	指定基準
教科教育専攻	理科教育専修	「数学、理科、外国語（英語）」の各教科のうち、いずれか１つ以上の教科の学習成績の状況が3.8以上であること

※上記以外の専修については、専修別指定基準はありません。

(2) 選抜方法

＊第一次選考（専修）

専修ごとに理解力・表現力・意欲等を評価する試験を課します。出願時の提出書類と合わせて、総合的に評価します。

試験の内容、評価の観点等の詳細は、【別表１】（１２ページ）を参照してください。

(3) 合否判定の基準及び配点等

ア．専修ごとに、第一次選考（専修）の得点の上位者から順に、合格者を決定します。

イ．第一次選考（専修）の得点率が６割未満の場合、不合格とします。

＊第一次選考（専修）配点及び合格基準点

配 点	合格基準点
４５０点	６割（２７０点）

VII. 選考試験、入学手続等

1. 試験期日と時間

(1) 第一次選考（専修）

令和８年１０月１７日（土）

※集合時刻は、受験票送付時にお知らせします。

※集合場所は、試験当日、大学内に掲示します。なお、受験者数及び試験の内容等によっては、試験が午後に及ぶ場合がありますので、念のため昼食を持参してください。

(2) 第二次選考（大学入学共通テスト）

令和９年１月１６日（土）及び１月１７日（日）

2. 第一次選考試験場 ※第二次選考は「大学入学共通テスト」の案内に従うこと

奈良教育大学 （奈良市高畑町）

近鉄奈良駅・JR 奈良駅から市内循環バス乗車「^{たかばたけちょう}高畑町（奈良教育大学）」下車（裏表紙参照）

3. 第一次選考試験受験上の留意事項 ※第二次選考は「大学入学共通テスト」の案内に従うこと

(1) 試験当日は、「奈良教育大学【総合型選抜】受験票」を必ず持参してください。万一、受験票を忘れた場合又は紛失した場合は、ただちに、試験場本部へ申し出てください。

(2) 試験当日は、自動車、単車、自転車での本学構内への乗り入れを禁止します。また、大学周辺には乗降のために停車できる場所がありませんので、自動車による送迎は自粛し、公共交通機関等を利用してください。近隣店舗駐車場や周辺路上にて送迎目的での駐停車はしないでください。

(3) 試験場では携帯電話、スマートフォン、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類の使用を認めませんので、アラーム設定を解除した上で、必ず電源を切ってください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず身につけていたり手に持っていたりすると、不正行為となることがあります。

- (4) 試験場で不正行為を行った者に対しては退場を命じ、当該年度本学で実施するすべての試験を無効とします。試験時間中に、カンニングまたはカンニングの手助け、携帯電話等の電子機器類の使用、志願者以外の者の受験、問題冊子の持ち出しを行った場合は、直ちに不正行為となるほか、監督者の指示に従わない場合や、使用できない用具や電子機器類を身に着けている場合も不正行為とみなすことがあります。また、悪質な場合は警察に被害届を提出する場合があります。
- (5) 試験開始時刻に遅刻した者は受験することができません。時間帯によっては、「市内循環バス」の運行に遅れが生じることがあります。あらかじめ経路、所要時間を確認の上、十分な時間の余裕をもって試験場に到着するようにしてください。
- (6) 試験開始後は、終了するまで途中退室は認めません。トイレ等による退室は監督者の指示を受けてください。なお、トイレ等の一時退室による試験時間の延長は行いません。
- (7) 受験者の持ち物は、筆記用具（黒又は青のボールペン、黒鉛筆、シャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム）、腕時計（計時機能だけのもの）とします。

なお、以下の専修の受験者は、必ず次の物も持参してください。

- ・教科教育専攻音楽教育専修
受験者自身が選択した子どもの歌（1曲）の弾き歌い用楽譜
- ・教科教育専攻美術教育専修
はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、雑巾
※その他の用具は持参してはいけません。
なお、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、のり付け用の紙、仮とめ用のクリップ、立体製作用の造形紙（B3判の両面色違いの造形紙、B4判の両面色違いの造形紙）は、大学で用意するので不要です。
- ・教科教育専攻保健体育専修
運動靴（室内用）・運動服（ただし、更衣室は用意しますが、できるだけ運動服で来てください）、必要に応じて雨具（傘など）・飲料水
- ・教科教育専攻技術教育専修
汚れてもよい服（体操服など）
- ・伝統文化教育専攻書道教育専修
漢字用半紙・仮名用半紙・漢字用半紙に4文字から6文字用の筆・古筆原寸大臨書ができる仮名用小筆・墨（固形墨の使用が望ましいが、磨墨したものや墨液の使用も認めます。）・硯・下敷き・文鎮等、書道用具一式

4. 合格者の発表

(1) 第一次選考

令和8年11月26日（木）午前10時

(2) 第二次選考

令和9年2月8日（月）午前10時

- ※ 各合格発表日に本学ホームページ（<https://www.nara-edu.ac.jp/>）上で合格者受験番号を速報すると同時に、合格通知書を合格者本人に郵送します。ホームページ上の合格速報は、情報提供サービスの一環として掲載するものであり、正式には合格通知書で確認してください。

電話などによる照会には一切応じられません。

5. 入学手続等

意欲重視型および一般型Ⅱにおける第一次選考合格者、一般型Ⅰにおける第二次選考合格者には、それぞれ合格発表後、入学に必要な書類を送付するとともに、その他入学手続に必要な事項を通知します。

(1) 入学手続期日 ※全区分共通

令和9年2月15日(月) 午後5時 郵送必着

(2) 納付金

① 入学料 282,000 円(予定額)

② 入学時諸費用 54,010 円(予定額)

(内訳: 後援会費 40,000 円、同窓会費 10,000 円、学生教育研究災害傷害保険等 4,010 円)

(注) ア. 入学料及び入学時諸費用(上記①及び②)については、入学手続期日までに納付し、振替払込受付証明書(大学提出用)を入学手続時に提出してください。

イ. 既納の入学料は、いかなる理由があっても返還しません。

ウ. 授業料については、前期分は5月末まで、後期分は11月末までに納入いただきます。

納入手続の詳細については、合格者に配付する「入学手続要領」によりお知らせします。

(参考) 授業料 年額 535,800 円(前期 267,900 円 後期 267,900 円)(予定額)

エ. 上記の入学料、授業料及び入学時諸費用は、令和8年度入学者の金額であり、令和9年度入学者については、変更する場合があります。

オ. 在学中に授業料の改定を行った場合は、改定時から新授業料が適用されます。

カ. 入学時諸費用(上記②)を納入した者が、令和9年3月31日までに入学を辞退した場合には、納入した者の申し出により返還します。

(3) 留意事項

① 原則として、総合型選抜合格者は入学を辞退することは認められません。

なお、令和9年2月15日(月) 午後5時までに入学手続を完了しないときは、総合型選抜合格者としての権利を消失します。

下記②の入学辞退の手続きを経た場合を除き、出願済みの他の国公立大学・学部一般選抜を受験しても合格者とはなりません。

② 特別の事情により本学に入学することが困難となった場合には、令和9年2月15日(月) 午後5時までに「総合型選抜辞退願」を提出し、本学学長の許可を得なければなりません。

③ 入学手続きには、大学入試センターが発行する「国公立大学入学確認票」の提出が必要です。

④ 総合型選抜に合格し入学手続きを完了した者は、一般選抜(前期・後期日程)の合格者とはなりません。また、入学手続きを行った後に、他の国公立大学に入学手続きを行うことはできません。

6. 「一般型Ⅰの出願者対象」一般選抜の併願受験を希望する者の取扱い

(1) 総合型選抜第二次選考に不合格となった場合に備えて、一般選抜において「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願することができます。

(2) 本学一般選抜による選抜を希望する者の出願手続等は、下記のとおりです。

① 総合型選抜第二次選考の合格者の発表は、一般選抜の出願期間終了後となりますので、あらかじめ出願手続きを完了しておいてください。

② 出願手続及び出願方法

出願手続は「令和9年度奈良教育大学学生募集要項(一般選抜)」(令和8年11月上旬以降に本学ホームページ上で公表予定)により、改めて行ってください。なお、一般選抜についてはインターネット出願となっております。

また、検定料については、別途納入する必要があります。

【別表 1】第一次選考（専修）の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等

第一次選考（専修）における、具体的な内容及び評価の観点等は下表のとおりです。

専攻	専 修	第一次選考（専修）の内容、評価の観点、加点対象となる公的な資格等
教 育 発 達 専 攻	教育学専修	教育に関する資料を提示し、レポートを課す。そのレポートの内容に基づいて集団面接の形式で質疑応答を行うとともに集団討論を課し、教育にかかる理解や関心のほか、学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教育学専修を志望した理由についても確認する。
	心理学専修	子どもの発達・教育に関する課題やテーマを与え、その課題やテーマについてのプレゼンテーションを行わせた後、その内容に基づいて個人面接（志願者が多数の場合は集団面接）の形式で質疑応答を行う。これにより、子どもの発達・教育にかかる理解や関心、課題やテーマを正確に読み取る力のほか、小学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	幼年教育専修	大学教員が乳幼児や乳幼児教育・保育に関する講義を行い、その内容に即した課題についてレポートを課す。その上で、その課題に基づくプレゼンテーションおよび集団討論を課し、乳幼児や乳幼児教育・保育に関する関心や理解を中心に、講義等の理解力、課題を解決し表現しようとする意欲や能力等、保育者としての資質・能力を総合的に評価する。
	特別支援教育専修	大学教員が人間（障害がある場合を含む。）の発達と教育に関する講義を行い、レポートを課す。その上で、レポートの内容に基づいて個人面接の形式で質疑応答を行い、人間の発達と教育にかかる理解や関心のほか、特別支援教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて志望動機についても確認する。
教 科 教 育 専 攻	国語教育専修	国語に関する文章を読ませ、それをもとに、いくつかの課題を行わせることにより、国語の諸問題への理解や関心、またその発信力、表現力、教科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。試験は個人面接の形式で行う。※志願者数により集団面接になる場合もある。
	社会科教育専修	大学教員が人文、社会等の分野から選んだテーマに関する講義を行い、レポートを課す。これにより、人文、社会等にかかる理解や関心、社会科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。
	数学教育専修	数学の問題を課し、白板や模型等を使って解決させ、その解決過程等について個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせる（※）。これにより、数学にかかる理解や関心のほか、算数・数学科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、算数・数学科の教員になることを目指す理由や、算数・数学についての経験やアピールを確認する。 ※志願者数により、プレゼンテーションに代えて記述式試験で評価することがある。
	理科教育専修	大学教員が自然科学におけるものの見方、考え方に関係するテーマに関する講義を行い、レポートを課す。これにより、自然科学への関心や、科学的な思考力・表現力を身につける意欲、そのほか理科を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。

教科教育専攻	音楽教育専修	音楽科教育に関する課題やテーマを与え、レポートを課した後、レポートについて個人面接の形式でプレゼンテーションを行わせる。その内容に基づいて質疑応答を行い、志望理由書などの内容も踏まえながら、他者との協働経験、現代の教育実践に対する理解や関心ならびに地域の教育への意欲を評価する。実技検査として、子どもの歌の弾き歌いをさせ、音楽を担当する教員としての適性と資質・能力を評価する。 ○加点対象となる公的な資格等（該当する場合は、活動報告書「3. 学内での活動内容、学校外での活動内容」に記入してください。） ・生徒会活動（会長、副会長などの生徒会役員に1年以上）、部活動（2年以上） 【持ち物】受験者自身が選択した子どもの歌（1曲）の弾き歌い用楽譜
	美術教育専修	大学教員が指導者となって授業を行い、その中で、実技（図画工作・美術の授業でも扱われるようなテーマでの紙による立体制作）とレポートを課す。授業の中での、①導入やまとめの時間での授業者と受験者との対話、および受験者間の議論②実技内容、③図画工作・美術の内容及び現代の教育課題に関するレポートが評価対象となる。これらを通して、図画工作・美術における理解力と思考力、技能と表現力を問い、子どもたちに創造活動の楽しさを味わわせることができる基盤となる小学校教員や中学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。 【持ち物】 はさみ、カッターナイフ、鉛筆、消しゴム、雑巾 その他の用具は持参しないこと。なお、カッターマット、定規、のり、セロハンテープ、ホッチキス、のり付け用の紙、仮とめ用のクリップ、立体制作用の造形紙は、大学で用意するので不要。
	保健体育専修	大学教員が講義を行った後、運動に関する課題やテーマを与え、筆記試験、集団討議および実技を課す。これにより、スポーツ文化についての理解や関心、健康教育の重要性の認識のほか、保健体育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。 上記とあわせて、個人面接の形式で志望動機、スポーツ経験（スポーツ・運動歴調書の内容を含む。）、教員を志す者としての資質、保健体育についての興味・関心、抱負等についても評価する。 【持ち物】 運動靴（室内用）・運動服（ただし、更衣室は用意しますが、できるだけ運動服で来てください）、必要に応じて雨具（傘など）・飲料水 なお、着替えやウォーミングアップについては、集合時に指示する。
	家庭科教育専修	生活科学に関する課題やテーマを与え、実技を行かせた後、それに関連するプレゼンテーションを行わせる（※）。これにより、生活科学に関する知識や技能のほか、学校教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で学校教員になることを目指す理由、教育への意欲などを確認する。 ※志願者数により、プレゼンテーションに代えてレポートを課すことがある。 ○加点対象となる公的な資格等 ・全国高等学校家庭科被服製作技術検定2級以上（公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会） ・全国高等学校家庭科食物調理技術検定2級以上（公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会） ・全国高等学校保育技術検定2級以上（公益財団法人 全国高等学校家庭科教育振興会） ・調理師免許 ・製菓衛生師免許 【持ち物】 エプロン、三角巾、手拭き用タオル、裁縫セット

教科教育専攻	技術教育専修	ものづくりに関する課題やテーマを与え、実技を行わせた後、それに関連するプレゼンテーションを行わせる（※）。これにより、ものづくりに関する知識や技能のほか、中学校技術科の教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で中学校技術科の教員になることを目指す理由、教育への意欲、ものづくりについての経験などを確認する。 ※志願者数により、プレゼンテーションに代えてレポートを課すことがある。 【持ち物】 課題を解くために、汚れる作業が必要な場合がある。それに備えて、汚れてもよい服（体操着など）を用意すること。
	英語教育専修	大学教員が教育に関する講義を行い、英語のレポートを課す。また、個人面接の形式で英語での質疑応答を行い、英語教育にかかる理解や関心のほか、英語を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、教員への適性と意欲を確認する。使用言語は原則的に英語とする。試験での辞書等の使用は認めない。 ○加点対象となる公的な資格等（該当する場合は、活動報告書「2. 資格・検定等」に記入してください。） ・英検 1 級、英検準 1 級、英検 2 級
伝統文化教育専攻	書道教育専修	大学教員が書道（楷書、行書、仮名）に関する講義を行い、レポートを課す。また、書道に関する課題を与え、実技を行わせる。これらを通して、書道についての理解や関心のほか、書道教育を担当する教員としての資質・能力を総合的に評価する。あわせて、個人面接の形式で書道教育に関する資質及び意欲等について確認する。 【持ち物】 漢字用半紙・仮名用半紙・漢字用半紙に 4 文字から 6 文字用の筆・古筆原寸大臨書ができる仮名用小筆・墨（固形墨の使用が望ましいが、磨墨したものや墨液の使用も認めます。）・硯・下敷き・文鎮等、書道用具一式
	文化遺産教育専修	大学教員が文化遺産の材質に関する講義を行い、レポートを課した後、レポートの内容に基づいて質疑応答を個人面接の形式で行う。文化遺産の保護・継承にかかる理解や関心、行動のほか、理科ないし美術を担当し、生徒をはじめとする他者と協働しながら課題の解決に立ち向かう教員・教育者としての資質・能力を総合的に評価する。

【別表 2】大学入学共通テスト利用教科・科目一覧

下表は、第二次選考（大学入学共通テスト）の成績利用方法をまとめたものです。受験の際は、下表に指定の教科や科目数に不足が生じないように留意して受験してください。必要科目が1つでも未受験の場合は、第二次選考の判定ができず「不合格」となりますので注意してください。複数の教科・科目から選択となっている場合で、複数の教科・科目を受験した場合は、最も高得点の教科・科目の成績を用います。

専修	大学入学共通テスト 利用教科・科目
教育学専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学から1科目（100点） ④数学（③以外の科目）、地理歴史・公民又は理科から1科目（100点） <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計600点</u>
心理学専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学から1科目（100点） ④数学（③以外の科目）、地理歴史・公民又は「情報Ⅰ」から1科目（100点） <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計600点</u>
幼年教育専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目（200点） <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計600点</u>
特別支援教育専修	①外国語から1科目（200点） ②下記の i. ii. のいずれか（400点） i. 「国語」に加えて、数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目 ii. 数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から4科目 <u>〔3教科4科目若しくは5科目〕又は〔4教科4科目若しくは5科目〕又は〔5教科5科目〕 合計600点</u>
国語教育専修	①外国語から1科目（200点） ②「国語」（200点） ③数学、地理歴史・公民、理科又は「情報Ⅰ」から2科目（200点） <u>〔3教科4科目〕又は〔4教科4科目〕 合計600点</u>
社会科教育専修	①外国語から1科目（200点） ②地理歴史・公民から2科目（200点） ③下記の i. から iv. のいずれか（200点） i. 「国語」 ii. 数学から2科目 iii. 理科から2科目 iv. 数学から1科目及び理科から1科目 <u>〔3教科4科目若しくは5科目〕又は〔4教科4科目若しくは5科目〕又は〔5教科5科目〕 合計600点</u>

* 別表2「大学入学共通テスト 利用教科・科目一覧」における留意事項

◎大学入学共通テストの教科・科目一覧表

- 外国語
 - ・『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』
- 国語
 - ・『国語』
- 数学
 - ・『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ』
 - ・『数学Ⅱ、数学B、数学C』
- 地理歴史・公民
 - ・『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』『公共、倫理』『公共、政治・経済』
- 理科
 - ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』『物理』『化学』『生物』『地学』
- 情報
 - ・『情報Ⅰ』

1. 外国語については、第二次選考を実施する全専修必須とします。
2. 外国語のうち『英語』を選択した場合、リスニングの成績も用います。その場合、リーディング（100点満点）を160点満点に、リスニング（100点満点）を40点満点に換算し、合わせて200点満点とします。なお、リスニング免除者については、リーディング（100点満点）を200点満点に換算します。

このとき、1点未満の端数が生じた場合は、四捨五入を行います。
3. 数学、地理歴史・公民、理科について2科目受験した場合、高得点の科目の成績を優先し、用います。
4. 理科において、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』から2つの出題範囲を選択し、『物理』『化学』『生物』及び『地学』の4科目から1科目を選択する場合、同一名称を含む科目を選択することも可とします。

(例) ・理科（基礎を付している出題範囲）→物理基礎、化学基礎 ・理科（基礎を付していない科目）→物理

5. 地理歴史・公民については、以下のとおりとします。
 - ア 以下の6科目のうちから最大2科目を選択します。
『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』
 - イ 『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」「歴史総合」「公共」の3つを出題範囲とし、そのうち2つを選択解答します。
 - ウ 地理歴史・公民から2科目を選択する場合においては、以下に留意してください。
 - ・『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。
 - ・『地理総合／歴史総合／公共』を選択した者は、選択解答が可能な組合せは以下のとおりです。

○：選択可能 ×：選択不可

	『地理総合／歴史総合／公共』		
	「地理総合」 「歴史総合」	「地理総合」 「公共」	「歴史総合」 「公共」
『地理総合、地理探究』	×	×	○
『歴史総合、日本史探究』	×	○	×
『歴史総合、世界史探究』	×	○	×
『公共、倫理』	○	×	×
『公共、政治・経済』	○	×	×

※表中の『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

VIII. 出願書類記入上の注意

1. 共通事項

- (1) 所要事項をもれなく正確に記入してください。不備のある場合は、受理しません。
- (2) 記載した事項については、受付後の変更は認めません。
- (3) 出願書類はすべて、黒色ボールペンを使用し、はっきりと判読できるよう丁寧に記入してください。(インクを消せるボールペン、修正ペン、修正テープは使用不可。)
- (4) ※印欄は、記入しないでください。

2. 「入学志願票」

- (1) 「連絡先」の欄は、大学側が出願書類の照会や連絡をとる場合、速やかに本人に伝達できる電話番号及び住所を記入してください。携帯電話をお持ちの場合は、携帯電話の番号も記入してください。出願後、連絡先を変更した場合は、入試課に届け出てください。
- (2) 「保護者等氏名」の欄は、保護者等の氏名を記入してください。「保護者等連絡先」の欄は、出願者本人と住所・電話番号が異なる場合のみ、保護者等の住所・電話番号を記入してください。
- (3) 「〔各区分共通〕出願資格」の欄は、出身学校名等の必要事項を記入してください。「その他の出願資格」の欄は、上記の資格を有しない場合、文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設等、出願資格に該当する具体的な内容を記入してください。
- (4) 「入学を志望する専攻・専修・履修分野」の欄は、2ページの「Ⅱ. 募集人員等」の表により、選択した区分ごとに、志望する専攻・専修・履修分野に○印を付けてください。また、欄外下部に記載の「志願する専修等の記入上の注意」をよく読んで記入してください。

3. 「受験票」・「写真票」

- (1) 「志望専攻・専修・志望区分」の欄は、入学志願票と同一のものに○印を付けてください。
- (2) 「受験票」の裏面には、385 円分の郵便切手を貼り、郵便番号・住所・氏名を記入してください。
- (3) 「写真票」には、出願前 3 か月以内に撮影した縦 4cm×横 3cm の上半身・脱帽・正面向きの写真（裏面に氏名を記入）を貼付してください。

4. 「検定料納付確認票」

「検定料納付確認票」貼付欄には、郵便局・ゆうちょ銀行で検定料を納付したときに受け取る「振替払込受付証明書（お客さま用）」を貼付してください。(ATM（現金自動預け払い機）では、「振替払込受付証明書（お客さま用）」が発行されません。必ず、窓口で納付してください。)

5. 「令和 9 年度大学入学共通テスト成績請求チケット送付票」

大学入学共通テスト成績請求チケット（国公立総合型選抜用）の左上にホッチキスで留め、専用封筒により提出してください。チケットを切り取る必要はありません。受験番号欄には、総合型選抜受験票に記載の受験番号を記入してください。なお、専用封筒は「一般型Ⅰ」の第一次選考合格時に送付します。

6. 「志望理由書」・「活動報告書」

左から横書きで記入し、裏面にも記入してください。書き損じた場合、二重線で消し、欄外や余白等にわかるように記入してください。訂正印は不要です。

7. 「宛名票」

「宛名票」には、出願者の氏名、郵便番号、住所の記入箇所が 4 箇所ありますので、全てに記入してください。

8. 「出願用封筒表面」

「出願用封筒表面」は、角形 2 号の封筒の表面に貼り付け、差出人氏名欄を記入のうえ、簡易書留郵便で提出してください（ポスト投函はできません）。

IX. 受験上の配慮等に関する事前相談について

疾病、障害又はその他の理由のために、受験上の特別な措置を必要とする者又は修学上の特別な配慮を必要とする者は事前に相談してください。

1. 相談の期日

令和8年8月21日（金）まで（必着）

上記期日後に不慮の事故等により同様に配慮等が必要となった場合には、直ちに入試課に相談してください。相談の時期や配慮等の内容によっては対応できない場合がありますので、至急相談してください。

2. 相談の方法

学長宛に次の事項を記載した相談書類（様式任意）を作成して提出してください。（理由が疾病、障害の場合は、医師の診断書を添付すること。）

記載された連絡先に対し大学側から連絡し、相談内容について協議のうえ、受験上の特別な措置について試験期日までに決定し、通知します。

なお、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁することができる出身学校関係者等との面談等を行います。

- （1）氏名及び出身学校名
- （2）疾病、障害その他の理由の種類、程度
- （3）志望専修・履修分野名
- （4）受験上の特別な措置を希望する事項
- （5）修学上の特別な配慮を希望する事項
- （6）出身学校でとられていた特別措置等の事項
- （7）日常生活の状況
- （8）連絡先（住所、電話番号等）

3. 提出先

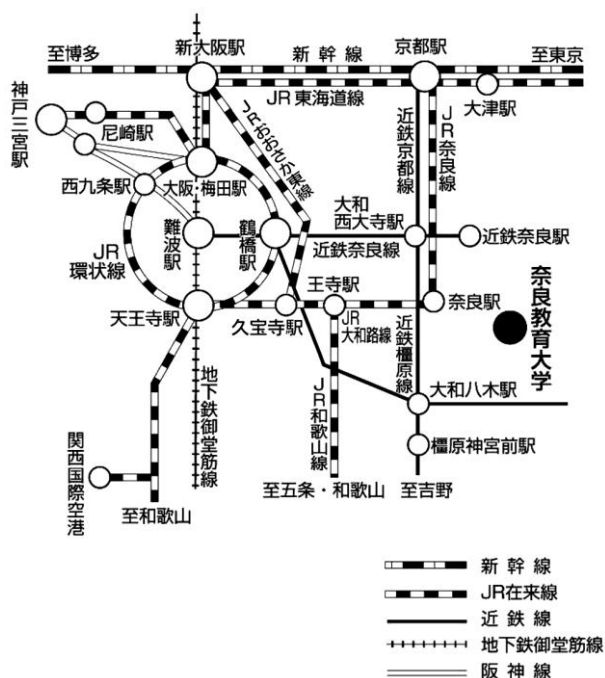
〒630-8528 奈良市高畑町 奈良教育大学 入試課

X. 個人情報の利用について

提出された出願書類等で得た個人情報は、本学の入学者選抜に係る業務のほか以下の業務に利用します。なお、法令に基づく場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用すること又は第三者に提供することはありません。

- ① 合格者の受験番号、住所及び氏名等の個人情報を、入学手続に関わる業務に利用します。なお、国公立大学における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、可否及び入学手続等に関する個人情報を大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。
- ② 入学手続者の受験番号、氏名、性別、生年月日、出身高等学校等の個人情報を学籍管理等の修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務並びに厚生補導に関わる業務に利用します。
- ③ 入学者選抜で取得した入学手続者に関わる成績等の個人情報を、入学料免除、入学料徴収猶予、第1年次における授業料免除及び奨学生採用等の経済支援に関わる業務に利用します。
- ④ 入学者選抜で取得した成績等の個人情報を、統計処理業務及び本学における入学者選抜方法の改善に関わる調査・研究に利用します。
- ⑤ 個人情報の保護に関する法令及びその他の規範を遵守します。

試験場への順路



京都駅から

近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行45分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

新大阪駅から

J R東海道本線で大阪駅へ、J R大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

大阪駅から

J R大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

難波駅から

近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

天王寺駅から

J R大和路快速で、J R奈良駅まで約33分＋市内循環バスで約15分「高畑町」下車すぐ

J R大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

神戸三宮駅から

阪神本線（快速急行）〔近鉄奈良行き〕で近鉄奈良駅まで約80分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

関西国際空港から

空港バスで近鉄奈良駅まで約90分＋市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

問い合わせ先

〒630-8528 奈良市高畑町

奈良教育大学 入試課

電話 0742-27-9126

FAX 0742-27-9145

ホームページ <https://www.nara-edu.ac.jp/>

E-mail nyuusi@nara-edu.ac.jp